

地域密着型金融の取組み事例（2023年4月～2024年3月）

【経営改善支援】

- ・ 経営幹部による財務等研修

取組内容と成果（効果）

- ・ 日頃の経営改善支援業務を行っている中、経営者は自社の経営実態を把握し、的確な経営判断を行うために欠かせない「財務会計」「事業計画策定」が不得手であることをヒアリングしており、研修会の開催に至ったもの。
- ・ 本研修は受講の必要性が高いと考えられる30～50歳代の経営者を中心とし、支援機関（当金庫、渡島総合振興局）職員との対話の機会も設け、両者が一緒に受講するスタイルとして開催。
研修は5回シリーズとし、自社の決算書を用いた貸借対照表、損益計算書の見方、分析、原価計算手法などを研修したうえで、事業計画策定も行った。
研修は講義のみではなく、経営者と支援機関によるグループディスカッション、講師（中小企業診断士）との個別相談なども実施。
また、最終日には北海道経済産業局による補助金等施策説明も行った。
これらにより経営者は自社の財務内容を把握でき、自ら経営改善に取り組む、支援機関は経営者の本音を理解し、伴走支援していくことの重要性を認識できた。

連携先

- ・ 渡島総合振興局
- ・ 中小企業基盤整備機構
- ・ 北海道経済産業局